

介護保険料額決定通知書の発送にあわせ

市内約94万2千人の皆さんに
特殊詐欺への注意を呼びかけます！！！！

横浜市では、神奈川県警と連携して特殊詐欺被害の防止に取り組んでいます。

令和5年は、オレオレ詐欺等の特殊詐欺が横浜市内で**933件**発生し、約**20億7,200万円**の被害がありました。(暫定値)

息子や孫をかたり現金をだましとる「**オレオレ詐欺**」や、還付金の手続を装って、ATMへ誘導し操作させる「**還付金詐欺**」の被害が多発しています。

これらの詐欺は、電話に出てしまったことから始まるものが多く、留守番電話等に設定し、すぐに電話に出ないようにするなどの対策が有効です。

そこで、特殊詐欺への対策を呼びかける内容のチラシを、介護保険料額決定通知書に同封します。

1 送付対象者

介護保険料額の決定を通知する、65歳以上の第1号被保険者(約94万2千人)

2 通知書発送日

令和6年6月13日(木)から順次発送

3 チラシデザイン

従来の啓発手法とは異なり、人の行動や特性に注目し、強制力を伴わず人々が望ましい行動をとるよう促す「**ナッジ**」を活用したデザインを採用しました。

チラシの作成に当たって、科学警察研究所犯罪予防研究室長 島田貴仁氏と横浜市行動デザインチーム YBiT に協力を頂きました。

◆科学警察研究所犯罪予防研究室長 島田 貴仁(しまだ たかひと)氏

大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了。

カーネギーメロン大学公共政策・経営研究科修士課程修了。博士(人間科学)。

専門は応用心理学・環境心理学・犯罪予防。著書に『犯罪と市民の心理学』(共編、北大路書房)、『犯罪予防の社会心理学—被害リスクの分析とフィールド実験による介入』(ナカニシヤ出版)など。



◆横浜市行動デザインチーム YBiT (ワイビット)

いわゆる「ナッジ」など行動科学の知見をふまえて行政実務の改善に

取り組むチーム(2019年に、地方自治体では日本で最初に設立されたナッジユニット)。

市内の幅広い分野で相談を受け、助言を行なっている。

YBiT

裏面あり



横浜市子どもの安全シンボルマーク
『パト・ハート』

チラシデザイン

【表】


ナッジポイント1

【裏】

ナッジポイント2

横浜市からのお知らせ

新しい給付金のお知らせです。手続きをするには、銀行口座を登録する必要があります。ご自宅まで伺いますので、キャッシュカードをご用意頂けますか?……



ここまで読んで「おかしいな」と思わないと、詐欺にあうかも詐欺にあわないために今すぐできることは裏面でご確認を!

自分と大切な人を特殊詐欺から守るために今すぐできること

1 電話機の留守電を設定する(ボタンを押すだけ!)

- ✓ 詐欺の犯人が録音を嫌って電話を切ります
- ✓ 周りの人も留守電を設定するきっかけになります

2 留守電メッセージの後相手が名乗ってから出る

- ✓ 詐欺の電話に出ずに安心して電話に出られます

防犯についてのアンケートにご協力ください

横浜市・神奈川県警察 不安を感じたらお電話ください。 #9110 (警察相談専用電話)

ナッジポイント3

ナッジポイント2

ナッジポイント3

◆ナッジポイント1 (実際の詐欺電話に近い状況の提示)

詐欺の電話を受けた時点では、実際は、それが詐欺の電話かどうか分かりません。電話を取る前から警戒しないと詐欺に気づくのが難しいことを実感してもらうため、一見して詐欺に関するチラシとは分からないデザインにしています。

◆ナッジポイント2 (行動指示)

読んだ人が簡単に今すぐできる対処行動を、「～しない」という表現ではなく、具体的に指示しています。

◆ナッジポイント3 (メリットの明示)

詐欺の犯人が録音を嫌がり電話を切るという、行動のメリットを明示しています。自分が留守電設定することが知人も留守電設定するきっかけになるという、利他的な動機づけを記載しています。

お問合せ先		
(特殊詐欺に関すること、ナッジに関すること)		
市民局地域防犯支援課長	丹羽 仁志	Tel 045-671-2601
(介護保険料額決定通知書に関すること)		
健康福祉局介護保険課長	廣原 英樹	Tel 045-671-4250